



紙与作

新

—紙薪^{まき}つくり器—

紙薪つくり器 紙与作 日本総輸入元 有限会社T&T
<http://tnt.ne.jp/>
PL保険加入商品

春～秋はアウトドア、冬はストーブなどで



2008年、昨今のエコロジーへの関心の高まりやブームや原油高騰などの状況下で『紙与作』を発売し、発売以降数多くのメディアで取り上げられ、話題となった商品が『紙与作』。

『紙薪づくり器 新 紙与作』は、新聞紙をリサイクルして紙の薪(まき)が作れるユニークな道具ということ、手軽さはそのままに、『紙与作』をお使いになったお客様多数のご意見を参考にし、より安全で、より使いやすいつくりを実現いたしました。

2008年JAPAN DIY HOMECENTER SHOWでは、「人と環境にやさしい商品部門」で金賞、「DIY新商品コンクール部門」銀賞を受賞、そして2009年JAPAN DIY HOMECENTER SHOWにおいても、「人と環境にやさしい商品部門」で金賞、「DIY新商品コンクール部門」銅賞を受賞と、2年連続ふたつの賞を受賞した、すぐれものの商品です。

簡単に作れて経済的、安全で環境に優しく、燃料費の節約だけでなく、環境に優しいとの理由で、一般家庭、教育現場やNPO団体等でますます愛用者が増加している『新 紙与作』。

いまやエコは他人任せではなく、自分たちの為に自分たちで始めなければなりません。一般消費者であるお客様のエコロジーへの関心の高まりと同時に、昨今の不景気下での生活上の節約が大切な今、簡単で安全、身近な所から節約、エコ、そして、話題性と実益性に富んでいるのが『新 紙与作』なのです。



紙で作ってな～に？



① 新聞紙が紙薪に！



『新 紙で作』はどこにでもある新聞紙をリサイクルして、アウトドアをはじめ、暖炉、ストーブ、農業用暖房機など、薪を燃料とするいろいろな器具などの燃料となる「紙の薪」を作るユニークな道具です。

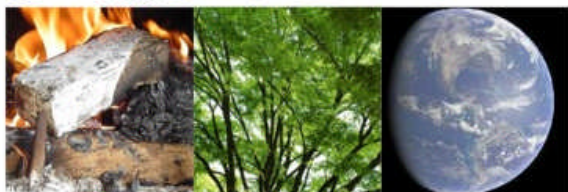
② 薪の消費が1/3減る！



「紙の薪」は熱量も灰も木の薪と殆ど変わりません。紙薪[1]に対し、木薪[2]の割合で補助材として幅広い用途で使用が可能。つまり、木の薪の消費量を1/3減らすことができます。

紙の薪は1時間30分程度かけてゆっくりと燃焼します。
(紙の薪の圧縮率や燃やす条件・状況により異なります。)

③ 環境にやさしい！



『新 紙で作』を使えば、誰にでも経済的で安全、エコロジーで、地球環境にやさしいリサイクル燃料「紙の薪」を作ることができます。



新・紙で作本体

④ いろいろ使える！



アイデアひとつで、アウトドア料理、キャンプファイアー・暖炉、薪ストーブ、だるま・ブリキストーブ、ピザの窯、陶器の窯、農業用暖房機、非常時など、いろいろな場面で紙の薪を活用できます。

※ 紙の薪は、木の薪と同様に煙がでます。網焼きのBBQにはお勧めしていません。(網焼きBBQでは通常、煙が少ない炭を使用します。)



どうやってつくるの？



用意するもの（紙薪1本分）

- 新 紙与作 本体
- 新聞紙 20枚（開いた状態）
- 水またはお湯を入れたバケツ
- 軍手



1. 水に浸し細かくする

新聞紙を1枚ずつバケツの水に浸し、揉みほぐしながら、新聞紙を細かくする。



2. 紙与作に詰める

細かくした新聞紙を取り出し、ケースの隅々まで厚さが均等になるよう全体に詰める。



3. 水分を出す

押し型を乗せハンドルを持ち、徐々に体重をかけながら水分を出す。

※ハンドルを押す際に手が痛くなる恐れがあります。
軍手を着用するか、ハンドルをタオルなどでカバーして、必ず手でご使用ください。



4. 2-3を数回くり返す

上部に出た水分は、紙与作を傾けて捨てる。
この作業を2～3回程度くり返す。



5. 取り出す

水分が出なくなったらケースから押し型を取り出し、次にケースの左右の端を持ち、揺らしながら引き抜くように取り出す。



6. 乾燥させて完成！

1週間～10日ほど風通しのよい場所で乾燥させて完成。
※十分に乾燥させてからご使用ください。
乾燥したときの重さの目安は、新聞紙20枚の場合約400gです。

紙と薪のメリット



欧米諸国では、薪ストーブが伝統的に生活の一部として普及しており、古くから新聞紙をリサイクルし、紙の薪として使用しています。

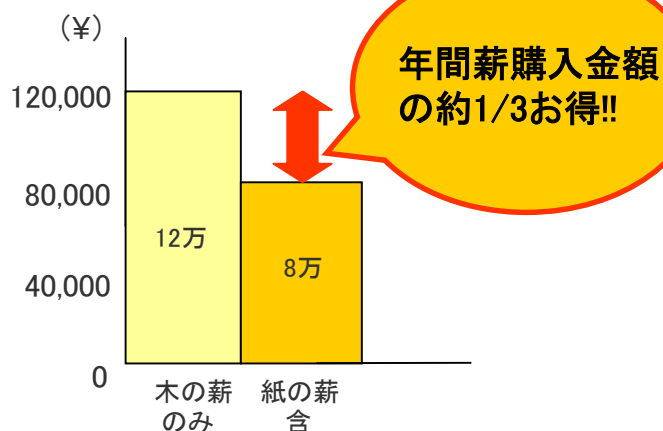
近年、日本でも趣味の多様化や豊かな生活の象徴として薪ストーブ類の需要が増加、不安定な原油の価格が原因となり灯油を使用しない木の薪を燃料とするストーブも見直され、注目されてきています。

そんな中、薪ストーブや暖炉の使用者にとって、薪の確保は手間もお金もかかり問題視されているのも事実です。また、エコバーベキューの流行やエコバッグを持つ人、日本国内だけでなく世界的にエコロジーに関心のある人が増えています。

アウトドアや非常時でも紙の薪は使用できることから、季節を問わず、実用性に優れ、エコロジー、それでいてお財布にもやさしい、『紙薪つくり器 新 紙と薪』。紙の薪の需要が徐々に増えている今、ブームは全国へと広がっています。

そして、大人が子どもに簡単にエコを伝えることができるのが『新 紙と薪』なのです。

お得で安全!! 紙の薪!



* 薪一束¥500、年間240束使用として換算した場合

* 薪のみの金額の約2/3程で済み経済的

- 新聞紙で作った紙の薪は、補助材として木の薪[2]に対して紙の薪[1]程度の割合で使うと、とても経済的!
- 新聞紙で使われる紙はパルプが原材料。国産のメーカーが約75%の古紙を利用し、製紙していると言われてます。その為、燃やした際に害があるなどの報告はありません。
- 国内の主な新聞紙に使われるインクは、印刷インクに関する自主規制であるNL規制に基づき製造されており、食品包装材の印刷にも使用されています。また、特定有害物質の使用制限であるRoHS指令にも適合している安全性の高いインクです。
- 燃やした際に、硫黄成分が発生することなく、薪ストーブの触媒の働きを妨げることはありません。
- 燃え残った灰は、菜園やガーデニングに使うと肥料効果が見込めます。
- PL保険加入商品です。
- 環境省が推進する「Reduce(リデュース)」「Reuse(リユース)」「Recycle(リサイクル)」の3Rに当てはまる商品です。

* 3Rとは?

3つのRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、そのことでごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会＝循環型社会をつくらうとするものです。